

2001

2月号



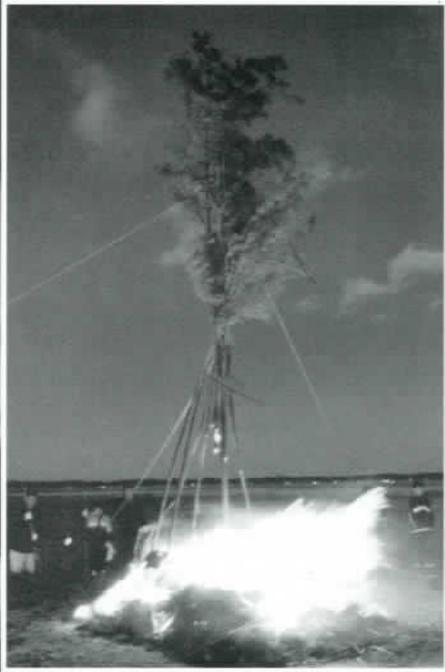
383

広報

カワチ



KOHOKAWACHI



五穀豊穰を願う

『あわんとり』

1月14日、羽子騎地区子供会で行われた「あわんとり」から

二十一世紀の幕開けを飾る

成人式典開催



2001年1月8日、二十一世紀初の「成人の日」。当町では今年、144人が大人の仲間入りをし、20歳を祝って環境改善センターなどで式典や祝賀パーティーが行われました。

式典では、新成人を代表して森田崇文さん（十三間戸）が『誓いの言葉』を宣誓し、また、『二十歳の提言』が各分館ごとに7人の代表によって行われ、二十歳になった感想や抱負などを発表しました。

誓いの言葉

もりた たかふみ
森田 崇文さん

（十三間戸）

ご来賓の皆様から心温まる祝福やほなむけのお言葉を頂き、ありがとうございます。ございました。

私たちは、この世に生を受け、これまで家族や学校の先生や地域の人たちに温かく見守られ教えを受け続け、本日、新たな門出を迎える事ができました。これまで私が頑張れたのもこうした皆様のおかげであります。常に感謝の気持ちをお忘れず、これからは、地域や社会に貢献できるように努力していきたいと思っております。

新年を迎え、新しく成人となる私たちの為に、この様な盛大な式典を開催して頂きまして、誠にありがとうございます。また、町長さんはじめ、

二十一世紀と共に私たちは、一人前の社会人として、自分の行動に責任を持つことを宣言し誓いの言葉とさせていただきます。



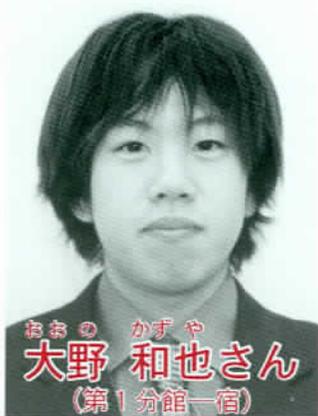
144人が



二十歳の提言

新世紀の

風になりたい



おおの かずや
大野 和也さん
(第1分館一宿)

二十一世紀が明け、この二十一世紀のはじめに成人を迎えることができ、大変うれしく思うと共に、今までお世話になりました両親や先生方、また地域の人たちに深く感謝いたします。これからも何かとご迷惑をおかけすると思いますが、温かい目で

見守っててください。

さて、時代は二十世紀から二十一世紀へと変わり、さらなる技術革新が求められています。しかし、現在も続く経済不況、増加する少年犯罪など、二十世紀中に解決することができなかった多くの難題が残されました。今日成人式を迎え、一社会人となった私達にとつて、これらの難題を乗り越えることが二十一世紀最初の課題となるでしょう。それに伴い、今よりさらに個人の能力、しつかりとした自分の意見、そして多くの社会経験が必要になってくると思います。これから一般社会に出る者として、これらに対応できるように、日々努力していきたいと思えます。また、私達の世代が新世紀の風と

なり、二十一世紀がより良い方向へと成長させ、次世代や次世紀のために、素晴らしい社会を残せるよう精進していきたいと思えます。

夢を失わず

後悔のない人生を



おおの ともゆき
大野 友之さん
(第2分館一北丸田)

今日、私は晴れて成人式を迎える事となりましたが、二十歳になり正直、何か変わったとは思いません。小さな頃から背伸びして憧れていた「大人」に気が付いたらなっていたというのが実感です。

私は、この日に至るまでの二十年間家族はもちろん多くの仲間達に支えられてきました。今、振り返ると、本当に両親には無茶ばかりして数々の迷惑をかけてきたと思います。通り過ぎる善悪も分からず、つまづきながら歩いていた自分をここまで育ててくれた愛情や友情に、この場を借りて心から感謝の念を伝えたいと思います。

つい先日、先人達が築き上げてき

た、激動の二十世紀に終わりを告げ、新たな時代を迎えました。新世紀と共に成人式を迎えた私達には、二十世紀の日本が抱えてきた課題に立ち向かう責任があります。しかし、まだまだ未熟な私には社会を背負って行く事は大きすぎる課題です。今でも仲間と一緒にいる居心地の良さに甘えてしまっている私にとつては、まずは自立し自分の進むべき道を考える事で精一杯なのです。

今、自分のすべき事は、自分の心を疑わず、自分の夢を追い掛ける事だと思っています。

これからも迷惑を掛けるかもしれませんが、夢を失わず最後に後悔のない人生にする事を誓い、二十歳の提言といたします。

自分の可能性

を信じて



いしの まさひろ
石野 雅浩さん
(第3分館一保村)

本日、無事に成人式を迎えられたことを嬉しく思います。そして大人

二十歳の提言

への第一歩を踏み出します。こうして成人式を迎えられたのも両親、友達、先生そしてたくさんの方々に支えて頂いたからだと思います。今まで支えて頂いた方々に感謝したいと思います。そしてまだ未熟な私ですがこれからも温かく見守って頂きたいと思います。

今地球は二十一世紀と言う新しい時代を迎え、私達は新しい社会人としての生活をスタートしたところですよ。月日が経つのは早いものであつと言う間に二十歳を迎えました。今までは未成年という考えが頭の中にありました。しかしこれからは自分の甘い考えを捨て、社会人として当たり前のことですが責任、自覚を持つて行きたいと思えます。これから社会の輪の中に入り勉強することがたくさんあると思えます。日々努力を惜しまず、現代社会の良いところを吸収し、新しい社会を築き上げる力になりたいと思えます。

そしてこれからの生活で大切なのは何事にもチャレンジして行くことだと思えます。結果を恐れていたら前に進むことは出来ません。これから待ち受けている壁を乗り越え成長し、自分の可能性を信じて歩んで行きたいです。

目的に向かつて

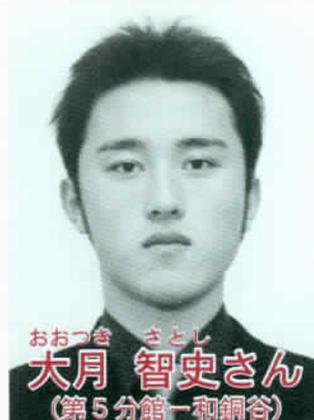
の出發



本日は、生涯に一度しかない成人式に参加させて頂き、新成人としての喜びをかみしめると同時に、今後の責任の重大さを痛感しております。今まで漠然としていた成人という気がはつきりと形になったという気がします。それは、今日まで未成年ということでも社会的にも個人的にも有形、無形に受けていた庇護がなくなり、すべてを自分自身が引き受けていかなければならないということだと思います。また、自身の歩む道を自身で決めるということでもあります。

今日の日本は、宇宙工学、遺伝子組み換え、情報通信等の科学技術が驚異的に進歩し、世界でもまれにみる豊かな国となりました。誰もが物

責任を持てる行動を



質的にほぼ満足し、その後にくるものを模索している時代です。私たちがこれから立ち回る社会は、既に強固に構築され、その枠からはみ出して活動することは非常に難しいことになっていきます。社会の中で自己実現するということは具体的な形をとりやすく、夢を抱きづらい時代だともいわれています。しかし、いつの時代でも不透明で不確実性の高い社会で、困難なことに挑戦するのが若者の特権でもあります。難しいことがあればあるほど、それだけ意欲も湧き、ファイトもでてきます。

たとえ乗り越えられない強固なハードルに直面しても、ひるまず目的に向かつて着実に歩いていく覚悟です。そこでは性急に目的に向かつて走りがちになりやすいのですが、少しゆとりをもって目的にチャレンジしていきたいと思えます。

私はまだ学生ですが二十歳となつて、決意を新たに二十一世紀の社会の中で生きていきます。本日の感激を胸に、未熟ながら何事にも一生懸命取り組みつもりです。また、社会の一員としてベストをつくしていく所存ですので今後ともご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。ここまで育ててくれた両親に深く感謝いたします。

二十一世紀という新しい世紀のはじまりに、無事に成人式を迎えられたということに、私自身、たいへんうれしく思います。それと共に、家族、友人お世話になった方々、そして、今日まで一緒に歩んで来た人たちに感謝の気持ちで一杯です。これまで、私は決して一人で生きて来たわけではありません。多くの方々の深い愛情と支援をいただいて、ここまで成長してこれたと思えます。

さて、記念すべき二十一世紀のスタートです。この節目の年に、成人式を迎えられたことに幸せを感じています。大人への第一歩を踏み出したといっても、実感が湧きません。しかし、もう大人の一人なのです。自覚しなければいけないのです。

今、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。さらに、これか



みやざわ たかし
宮澤 崇さん
(第6分館—上金江津)

一人の百歩よりも 百人の一步を大事に

らも、そうあり続けるでしょう。少しでも周囲の環境を理解して、地域やこの町の歴史に関する勉強が必要だと思えます。そして、実際に汗をかいて行動し、その中から学ぶことも必要だと思えます。IT革命で、世界が狭くなったと言われている現在、気軽に宇宙旅行というのもそう遠い夢ではなくなりました。しかし、どんな時代になっても、基本的な人間の生き方は変わらないと思えます。だからこそ、しっかり考えて責任の持てる行動をとり、他人に迷惑をかけるないようにしなくてはならないと思えます。

今日、二十世紀から二十一世紀へ移り変わり、新世紀の幕開けに私達は晴れて成人式を迎えることができ、私自身喜びでいっぱいです。それと同時に、今まで共に歩んできた仲間たち、私を支えてくれた家族、そしてお世話になった多くの人達に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、私達は二十歳となり社会に認められ、ようやく大人の仲間入りをしたわけですが、今日社会ではさまざまな問題を抱えています。二十一世紀に入り、ますます進む高齢化・少子化、環境問題や今最も注目されているIT革命。世界中で驚く速さで情報化が進んでいます。そんな中で、これから私達はその問題に立ち向かっていかなければなりません。しかも、今までは先輩達が築き上げてきた道をそれに従って進んできただけでしたが、これからは私達が自らの手でその道をつくり、自分達の後に次の世代への道しるべを示さなければなりません。それは口で言うほどたやすいことではないし、まだまだ未熟な私にこれという考えを持っているわけでもありません。しかし、これから先何もかも人に任せ、自分から動こうとしなければ何も変わらないと思えます。一人で百歩進むより、百人の一步が大事だと思えます。そしてその一步が私達の成長につながり、また、社会への貢献につなが



ちえ 肉藤 智江さん
(第7分館—平川)

優しさと 勇気をもって

ると私は考えています。

これから先、私達はまだまだいろんなことを学び、いろいろな経験をし、社会の一員として成長していかなければなりません。こんな私たちですが、これまで同様温かく見守っていただきたいと思えます。

二十一世紀の幕開け、節目の年に晴れて成人の日を迎え、大人としての第一歩を踏み出しました。

長い目で短かった二十年間の月日、振り返ればいろいろなことがありました。楽しかった事、うれしかった事、辛く苦しかった事。どれも大切な思い出であり、どんな時にも側には家族や友人がいて、私を支えてくれました。「人は一人では生きられない。」とよく言われますが、納得

する事も多いです。これからは、社会の一員として成長していかなければなりません。支えられるばかりではなく、支えてあげられる様になると思えます。それには勇気が必要です。いくら相手が大変だろうと思っても、実際言葉に表さなければ、思いは伝わらないものです。今までも私は、いざという時、とまどってしまふ事が多く、後悔することもありました。本当の勇気とは優しさを伴い、本当の優しさは勇気を伴うものです。「優しさ」と「勇気」この二つを組にしていけば、必ず伝わると信じています。

これからまた新しい道が始まります。笑顔を忘れず、しっかり前を向いて歩んでいける様、自分の思いを大切にしていきたいと思えます。まだ未熟な私ですが、立派な大人を目指してがんばります。本日を期に、名実ともに成人となれます様、これからも宜しくご指導下さい。

公民館からのお詫びと訂正

成人式典に関する名簿、通知等に字の誤りがありました事をお詫び申しあげ、訂正致します。

- 誤り 長島 由美さん
- 正 長島 由実さん

二十歳の提言

第4回河内町議会定例会

平成十二年第四回河内町議会定例会が、十二月六日から十一日まで開かれ、報告一件、一般会計補正予算などの議案十件、意見書等を審議可決しました。

また、冒頭で野高町長が諸報告を行いましたので、その概要をお知らせします。なお、一般質問の概要については、次号でお知らせします。

諸報告 II 野高町長

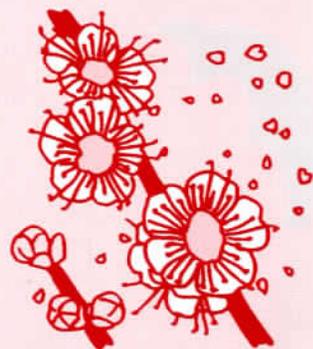
2000年ももうすぐ終わろうとしております。本年も、町民運動会、敬老福祉大会、戦没者追悼式、輝いて生き生き祭と大きなイベントが行われ皆様方には、大変ご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、私ごとではありませんが、さる9月27日から10月6日までの10日間県町村会主催欧州行政視察団の団員とし、ドイツ、オーストリア、フランスの3ヶ国を歴訪し行政事情を調査、視察をしてまいりました。この10日間は天候にも恵まれ、限られた時間ではありましたが、主要都市や地方の町村等を視察、懇切丁寧な説明を受け大変有意義な視察でありました。こ

の研修の成果を踏まえ、新しい21世紀の町づくりを生かせればと考えております。議員各位のご賛同、ご協力に対し御礼を申し上げます。

本年の転作につきましてはお陰様をもちまして100パーセント達成ができました。農家の方々は大変ありがとうございました。

又、来年度の転作面積につきましては、本年度より41ヘクタール多い951ヘクタールの指示がまいっております。農家の皆さん方の更なるご協力をお願い申し上げます。又、米価の下落傾向がつきつき農業環境が厳しくなるなか農家所得の向上を目指して、株式会社ふるさとかわちを設立あるいは直販センターふるさとかわちを建設



し、米そして農産物の販売に力を入れてまいりましたが、このたび新嘗祭献穀納式が10月26日皇居にて行われ、河内町の小更摩史夫妻、大野豊夫妻により米と粟が献上されました。栄えある献上米としてブランド米おかずのいらいかわちのお米の生産、そして販売にご期待を申し上げます。

市町村の合併の特例に関する法律の改正が行われ、県におかれましては、10月に市町村合併の素案を発表いたしました。又、11月には茨城県市町村合併推進委員会より市町村合併に関する調査検討報告書が県に報告されたところです。行政能力を高め、地域のニーズに対応した町づくりを行うことが大きな責務であります。地域住民、議員の皆様方ともども議論を重ねながら推進を図ってまいりたいと

報告

第三セクター「株式会社ふるさとかわち」に関する経営状況の報告について

第四期（自平成11年9月1日至平成12年8月31日）営業報告書、貸借対照表、損益計算書および損失処理計算書について承認されました。

議案

河内町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

平成12年11月14日「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律」が成立、先に行わ

議会だより

議会だより

れた人事院勧告を実施するものであり、国に準じ本条例の一部を改正するもので可決されました。

中央省庁等改革関連法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

中央省庁等改革関連法律が平成13年1月6日より施行されることに伴い、町の関係条例の一部を改正するもので可決されました。

河内町土地開発基金条例の一部を改正する条例について

基金条例の透明化と財源を適正に活用するため、基金の額を改正するとともに積立額増加の規定を削除、定額運用基金としての整備を図るもので可決されました。

河内町介護保険条例の一部を改正する条例について

保険料の納期並びに保険料の額を通知する対象者に関する規定等について県の指導により条文の整理をするもので可決されました。

茨城租税債権管理機構設置に関する協議について

自主財源である税収入を確保するとともに税の公平を徴収面から担保し、自主納税意識の高揚を図

るため、茨城租税債権管理機構の設置について、議会の議決を求めらるもので可決されました。

平成12年度河内町一般会計補正予算(第4号)について

歳入歳出予算の総額に26,412千円を追加し、4,112,873千円とするもので、歳入の主なもの国庫支出金1,551千円、県支出金20,572千円、繰越金7,539千円で、歳出の主なもの総務費33,164千円、民生費2,247千円、教育費2,539千円を計上するもので可決されました。

平成12年度河内町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算の総額に72千円を追加し、1,094,051千円とするもので、歳入については繰越金72千円、歳出については総務費72千円を計上するもので可決されました。

平成12年度河内町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算の総額から100千円を減額し、330,699千円とするもので、歳入については一般会計繰入金100千円を減額、

歳出については総務費及び保険給付費の予算を組替え、総額で100千円を減額するもので可決されました。

平成12年度河内町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算の総額から2,010千円を減額し、839,960千円とするもので、歳入については繰入金2,010千円を減額、歳出については人事異動に伴う補正で、下水道管理費1,650千円、下水道建設費360千円を減額するもので可決されました。

平成12年度河内町水道事業会計補正予算(第1号)について

第3条予算の収益的支出の予定額を8,845千円を増額し310,296千円とし、第4条予算の資本的支出を8,500千円を増額し133,927千円とするもので、第3条予算の内容は、減価償却費6,315千円、資産減耗費2,530千円、第4条予算の内容は、建設改良費8,500千円で可決されました。

決議

「少年を覚せい剤等薬物乱用から

守る街宣言」の決議について可決されました。

意見書

雇用・失業情勢の深刻化に対応するための労働行政の充実・強化を求める意見書の提出について可決されました。

請願

道徳教育の強化と教科書の採択に関する請願の二件、道徳教育の強化と小・中学校用教科書の採択制度運用の改善に関する請願について採択されました。

認定

平成11年度河内町各会計決算については、各常任委員会に付託され審査の結果、各会計とも認定されました。(7~8ページ参照)



町決算のあらまし

平成11年度の歳入歳出決算が、昨年12月町議会定例会で認定されました。「豊かに美しくすむ町づくり」のために使われたお金（一般会計）は46億751万円でした。11年度決算のあらましをお知らせします。



一般会計

歳入
48億
6,065万円

歳出
46億
0,751万円

地方交付税
20億6,908万円

民生費
7億7,913万円

町税
9億8,502万円

教育費
7億6,200万円

繰越金
3億6,761万円

土木費
6億9,297万円

国庫支出金
3億2,228万円

総務費
6億5,051万円

諸収入
3億0,627万円

農林水産業費
5億7,864万円

県支出金
2億0,842万円

衛生費
5億5,969万円

地方譲与税
1億2,155万円

公債費
2億6,355万円

町債
1億0,680万円

消防費・商工費
2億1,970万円

その他
3億7,362万円

議会費
1億0,132万円

※金額は一万円以下を省略しました。

特別会計決算状況

☆国民健康保険特別会計

歳入 10億4,673万円
歳出 9億5,177万円

☆老人保健特別会計

歳入 10億4,235万円
歳出 10億3,826万円

☆下水道特別会計

歳入 7億2,029万円
歳出 6億7,199万円

☆水道事業会計

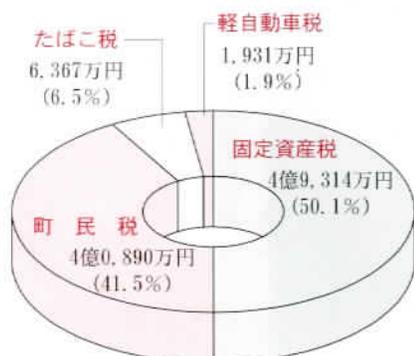
・収益的収入および支出

収入 3億2,576万円
支出 2億9,190万円

・資本的収入および支出

収入 1,421万円
支出 1億1,188万円

町税収入の内訳



町税負担状況



財政支出状況



※人口 11,991人 世帯 3,220世帯 (平成11年4月1日現在)

平成11年度河内町

農林水産業費

農業の発展のために

緊急生産調整推進対策費	2億2,413万円
農業総務費	1億7,049万円
農業振興費	6,226万円
農業委員会費	3,942万円
農産物産地育成事業費	2,427万円
農村環境改善センター施設管理費	1,501万円
…………… など	

土木費

快適な町づくりに

住宅建設費	2億4,611万円
公共下水道費	1億7,574万円
道路新設改良費	9,329万円
土木総務費	6,887万円
道路維持費	4,275万円
橋りょう維持費	3,251万円
…………… など	

消防費

安心な暮らしのために

非常備消防費	1億9,982万円
防災費	1,509万円
…………… など	

衛生費

清潔で健康な生活のために

塵芥処理費	1億6,571万円
環境衛生費	1億0,247万円
老人医療給付費	8,572万円
医療福祉費	5,660万円
し尿処理費	5,022万円
保健総務費	4,075万円
衛生総務費	1,926万円
老人保健対策費	1,727万円
…………… など	

民生費

福祉と明るい町づくりに

保育所運営費	2億2,405万円
老人福祉費	1億6,114万円
社会福祉総務費	1億1,714万円
介護保険事業費	1億0,391万円
福祉センター管理運営費	7,877万円
東共同利用施設費	3,601万円
身障者福祉費	1,980万円
…………… など	

総務費

住民サービスの向上に

一般管理費	2億6,767万円
税務総務費	5,770万円
戸籍住民登録費	4,764万円
賦課徴収費	3,981万円
企画費	3,918万円
騒音対策費	3,259万円
…………… など	

教育費

教育と文化の向上に

小学校費	3億7,961万円
学校給食費	1億3,141万円
社会教育費	8,424万円
中学校費	7,535万円
教育総務費	6,064万円
幼稚園費	2,218万円
…………… など	

平成13・14年度

河内町競争入札参加資格審査申請書 受付中



■受付期間

◆持参・・・平成13年2月1日～28日
(土日祝日は除く)

◆郵送・・・平成13年2月1日～28日
(当日消印有効)

■受付時間 午後1時～午後4時

■有効期間 平成13・14年度(2年間)

■提出方法

- (1) 書類の書式は、国土交通省様式とし、各書類はA4ファイル(色指定あり)に綴じ込み、表紙・背表紙に業社名を記入してください。
- (2) 郵送の場合は封筒の表に「入札参加資格審査申請書在中」と表示し会社名、住所を明記した返信用はがきを必ず同封ください。

■提出部数 1部

■提出先及び問合せ先 〒300-1392 稲敷郡河内町源清田1183 河内町役場 企画財政課管財係
TEL 0297-84-2111 (内線211・212)



消防出初式

21世紀初の消防出初式が1月7日、消防団員や関係者ら約300人が参加して、環境改善センター前の駐車場で行われました。

身も凍る寒さの中、団員の皆さんは、人員、服装、機械器具の点検などをきびきびとした動作で行い、新世紀の消防活動への決意を新たにしました。

この後、環境改善センター内に会場を移し、野高町長からの講評・訓示、優良分団や団員の表彰後、来賓の方々の祝辞をいただきました。

なお、受賞者は次のとおりです。

- 消防庁長官表彰 (敬称略)
 - ・ 勤続15年以上退団者
 - 根本幹朗 宮本則明
- 茨城県知事表彰
 - ・ 永年勤続功労章
 - 根本幹朗
 - ・ 茨城県知事・県消防協会会長表彰
 - ・ 勤続5年以上15年未満退団者
 - 秋山力典 坂巻 守 秋山 実
 - 佐川拓也 榎田恵一 小那木清
 - 沼崎静夫 岡沢 浩 前田壮久
 - 柳町浩文 江口英一 郡司誠市
 - 篠田 啓
- 県消防協会会長表彰
 - ・ 優良分団表彰
 - 第10分団
 - ・ 功労章
 - 根本真治 神崎裕行
- 県消防協会県南南部連絡会長表彰
 - ・ 功労章
 - 嶋田正裕 大野 貢
- 県消防協会稲敷支部長表彰
 - ・ 分団
 - 第10分団・個人
 - 小川孝生
- 町優良団員町長表彰
 - 大野文雄 石山俊幸 栗山和守
 - 大野 貢 瀬尾正治 石井一夫
 - 坂本雅寿 田中和美 小松崎繁
 - 大塚猛志 片岡 浩 内山雄二
 - 片岡 貴 大古昭二 田々辺寿雄
 - 石引勝好 片野 栄 佐々木祐次
 - 内藤勝美 岡崎勝利 大野克彦
 - 大野文昭 江口典之 藤ヶ崎光明
- 町優良団員団長表彰
 - 岡部正己 岡野隆善 吉田修一
 - 江口哲雄 江口さだ子
- 特別表彰(感謝状)
 - ・ 女性消防団退団者
 - 牧山照代
 - ・ 火災協力者
 - 大木正夫 真木俊美

税に関する作文・標語入選作品

中学生を対象とした、全国納税貯蓄組合連合会主催による「税についての作文」・国税局主催による「税に関する標語」の募集において入選した作品を紹介いたします。(敬称略)

作文

- 竜ヶ崎税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
 - 税について
 - 青野 恵 (金江津中2年)
- 関東信越税理士会竜ヶ崎支部長賞
 - 身近にある税
 - 真木 静佳 (河内中1年)

標語

- 竜ヶ崎税務署長賞
 - 税金をおさめてつくる日本の未来
 - 石塚 優 (河内中3年)
- 納めて作る夢ある未来
 - 大野 智美 (金江津中3年)
- 江戸崎県税事務所長賞
 - 税金をおさめて願う豊かな社会
 - 萩原 香子 (金江津中1年)
- 竜ヶ崎税務署管内租税教育推進協議会長賞
 - 税金を正しくおさめてみんなで笑顔
 - 秋山 翔太 (河内中1年)
- 河内町長賞
 - 税金と共に歩む二十一世紀
 - 厚田 真澄 (河内中1年)
 - 明るいわねぼくらの町は納税で
 - 高野 翔太 (河内中1年)
 - 税金はみんなの暮らしを豊にしている
 - 高山 真実 (河内中3年)
 - 税金は私達の暮らしを豊にするスーパーマン
 - 内藤 五月 (金江津中1年)
 - 川口 典子 (金江津中3年)
 - 日本の未来に役立つ私の税
 - 川口 典子 (金江津中3年)



国民年金係からのお知らせ



●年金相談を開催します●

年金についての疑問や質問に应付するため、土浦社会保険事務所の職員を迎え下記の日程で年金相談を開催いたします。同時に集合徴収も実施しますので、過年度分の年金保険料などを納めたい方は、お気軽においで下さい。



■ 日 時 平成13年3月23日(金)

・午前10時～12時

・午後1時～2時

■ 場 所 河内町役場2階会議室

当日、過去の年金の記録などを調べるためにも、年金手帳や職歴のメモ、印鑑、その他資料となりそうなものがありましたら、お持ちになって下さい。

●老齢基礎年金の繰上減額率と繰下増額率が変わります●

現在、年単位で決められている繰上減額率、繰下増額率が、平成13年度以降に60歳に達する者（昭和16年4月2日生まれ以降の者）から下表のように改正されます。

現在と改正後の繰上減額率・繰下増額率

請求時の年齢	現在の減額率・増額率	改正後減額率・増額率
60歳	-42%	-30%
61歳	-35%	-24%
62歳	-28%	-18%
63歳	-20%	-12%
64歳	-11%	-6%
65歳	-	-
66歳	+12%	+8.4%
67歳	+26%	+16.8%
68歳	+43%	+25.2%
69歳	+64%	+33.6%
70歳	+88%	+42.0%

※改正後の率と計算例

・繰上減額率=0.5% 繰上げた月数

60歳で繰上請求した場合
 $0.5\% \times 12\text{月} \times 5\text{年} = 30\%$

・繰下増額率=0.7% 繰下げた月数

66歳で繰下請求した場合
 $0.7\% \times 12\text{月} \times 1\text{年} = 8.4\%$

問合せ先 河内町保険年金課国民年金係
 ☎84-2111 (内線 163・164)

- 4日(木)御用始め、庁議、ふるさとかわち年頭挨拶、社会福祉協議会年頭挨拶
- 6日(土)龍ヶ崎市消防出初式
- 7日(日)河内町消防出初式
- 8日(月)成人式
- 9日(火)河内町町長・議長会議
- 10日(水)農業委員会新年会
- 11日(木)町営住宅入居選考委員会、水道課予算査定
- 16日(火)郡負担金審議会
- 18日(木)郡遺族会合同役員会、予算査定、竜ヶ崎青年会議所通常総会
- 19日(金)稲敷広域圏事務組合管理者等会議(検討委員会)
- 22日(月)県負担金審議会
- 24日(水)ボランティアさつき会新年会、新酒打合せ
- 26日(金)監査委員新年会
- 31日(水)土連江戸崎出張所連絡協議会、入札、教育研究会



1月

町長の動き

ガイド

役 場 ⑧4 2 1 1 1
 F A X ⑧4 4 3 5 7
 水 道 課 ⑧4 2 3 6 1
 つつみ会館 ⑧6 3 7 4 0

保健センター ⑧4 4 4 8 6
 学校教育課 ⑧4 3 3 2 2
 生涯学習課 ⑧4 2 8 4 3
 (中央公民館)
 給食センター ⑧4 2 8 4 5
 福祉センター ⑧4 3 6 9 9

みんなの窓



お知らせ

生活

平成12年分所得税の
 確定申告

3月15日(木)まで



申告・納付期限の3月15日
 間近になると、税務署の窓口
 は大変混雑し、長時間お待ち
 いただくようなことになりか
 ねません。申告は自分で書い
 て、できるだけ早めに提出し
 てください。申告書は郵送で

2月の納税

- ◆ 国民年金保険料 11期 ◆
 - ◆ 固定資産税 4期 ◆
 - ◆ 国民健康保険税 6期 ◆
 - ◆ 介護保険料 3期 ◆
- 徴収日は2月28日です。

も提出できます。

■ 問合せ先 竜ヶ崎税務署
 ☎ 66-1303

結婚はまず男女の
 出会いの場づくりから

あなたのパートナー選びを
 「いくらかでもお役に立てる
 なら」と相談員が親身になっ
 て、お相手探しのお手伝いを
 します。

結婚に対して前向きな独身
 者(再婚希望者)であれば、
 県民どなたでも会員加入の申
 込みができます。

運営にあたっては、行政や
 各種団体の推薦を頂いていま
 す。また、プライバシーの秘
 密については厳守しています
 ので、ご安心下さい。

■ 申込み・問合せ先

・ いばらき結婚相談センター
 水戸市三の丸1-5-38
 (茨城県三の丸庁舎3階)
 ☎ 029-224-8888
 ・ 県南相談センター
 牛久市中央1-16-1
 (ラウエル牛久内)
 ☎ 0298-30-7502

自動車の正しい 登録について

自動車税は、4月1日現在
 の名義人に課税されます。自
 動車を他人に譲ったり、使用
 しなくなった時は、必ず陸運
 支局で名義変更等の手続きを
 して下さい。

手続きをしませんと、いつ
 までも名義人に課税されるな
 ど、トラブルの原因にもなり
 ます。

■ 変更登録の問合せ先
 陸運支局土浦自動車検査
 登録事務所
 ☎ 0298-12-8111

■ 自動車税の問合せ先
 茨城県江戸崎県税事務所
 ☎ 0298-92-6112

人事異動



1月1日付、町職員の
 人事異動をお知らせしま
 す。

()は旧所属などです。

- 生涯学習課
 - ・ 課長 山田 一郎
- 出納室
 - ・ 室長 山田 英一
- 学校教育課
 - ・ 課長 大野 精司
- 住民課
 - ・ 課長 荒井 貞男
- 建設課
 - ・ 課長 小川 輝文
- 議会事務局
 - ・ 局長 小島 政治
 - ・ 主任 (福祉課長補佐)
- 福祉課
 - ・ 主事 吉田 修一
 - (建設課主事)

■ 日時 3月12日(月) 午後4時～5時
 ■ 問合せ先 ☎ 87-5061
 ■ 場所 新利根町柴崎7030 奥戸金型製作所内 鈴木まで

休日診療 当番医

◇江戸崎地区

【3月】
 4日 鴨下医院 0298-92-2619
 11日 ゆはらクリニック 0298-94-2002
 18日 池延医院 0297-87-2070
 20日 竹尾医院 0297-86-2436
 25日 宮本病院 0299-79-2114

◇竜ヶ崎地区

*上段が内科、下段が外科です。

【3月】
 4日 吉澤胃腸科医院 66-0977
 青木医院 64-3131
 11日 細井クリニック 66-2000
 菊地整形外科 64-6111
 18日 福岡小児科医院 66-3245
 さくらクリニック 65-1211
 20日 兼子内科循環器科 64-3105
 斎藤クリニック 64-3527
 25日 池田病院 64-1152
 みやおかクリニック 62-3761

*診療を受ける際は、必ず電話で確かめてください。



善意のご寄付 (敬称略)
 河内町農村生活改善グループ連絡協議会 10,000円
 矢島小林工業(株) 49,000円
 常陽銀行竜崎支店 15,000円
 女性の会 10,000円
 みのり会 98,400円
 社会福祉協議会へ

善意のご寄付

固定資産税の課税台帳の縦覧を、3月1日から3月30日まで行います。縦覧を希望する方は、役場税務課までお問い合わせ下さい。(土、日は除く)

固定資産税 課税台帳の縦覧

募集

職業訓練校 訓練生募集

働きながら技能を学ぶ
 龍ヶ崎地区高等職業訓練校

世帯数 3,066戸
 人口 11,502人
 (男5,639人 女5,863人)

問合せ先 河内町役場 税務課 842111 (内線173)

平成12年国勢調査 の結果報告

国勢調査の実施につきまして、町民の皆様のご協力ありがとうございました。今回の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

募集

通信制課程生徒募集

働きながら学べる通信制
 向学の意志を持ちながら、いろいろな事情で毎日通学できない方も、職場や家庭にしながら学べる学校です。

願書受付期間
 龍ヶ崎地区高等職業訓練校
 ☎・FAX 62-4214

では、次のとおり訓練生を募集します。職業訓練校とは、関連する企業などに就職し、現場作業の実地指導を受けながら、さらに訓練校で知識や技能などを習得するものです。

■専攻科目 木造建築科、左官科、とび科、板金科、
 ■訓練期間 各科目とも3年
 ■受付締切り 3月31日
 ■申込み・問合せ先
 龍ヶ崎地区高等職業訓練校
 ☎・FAX 62-4214

県立水戸南高等学校
 通信制課程生徒募集

働きながら学べる通信制
 向学の意志を持ちながら、いろいろな事情で毎日通学できない方も、職場や家庭にしながら学べる学校です。

願書請求・問合せ先
 〒310-0804
 水戸市白梅2-10-10
 茨城県立水戸南高等学校
 (通信制職員室)
 ☎ 029-247-4284
 (事務室)
 ☎ 029-247-6173

3月7日(木)～3月27日(火)
 (3月10日と24日の土曜日、日曜日及び祝日は除く)
 午前9時～午後5時
 (17日の土曜日は正午まで)
 ◎幅広い年代の方が学んでいただけます。お気軽にお問い合わせ下さい。

在校生の年齢構成
 (平成12年度)
 ・40歳代以上 8・5%
 ・30歳代 4・8%
 ・20歳代 23・3%
 ・10歳代 63・4%

3月のゴミ収集カレンダー

資源回収日		燃えないごみ収集日	
A地区	13, 27	C地区	6
B地区	14, 28	D地区	7, 21
燃えるごみ収集日		プラスチックごみ収集日	
全地区	毎週月曜日と金曜日	全地区	毎週木曜日
粗大ごみの予約収集日 3月中の予約→4月7日 (注: エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機は収集しません。)			
■問合せ先 都市計画課 環境衛生係 ☎ 内線155、156			

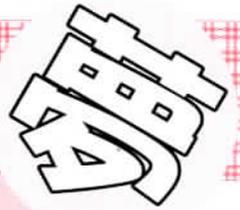
心配ごと相談所

・3月1日(木) 午前10時～正午
 ・3月15日(木)

◆会場 公民館第2分館
 ◆問合せ先 社会福祉協議会
 ☎84-2830

講演会のお知らせ

テーマ 『心の生涯教育』
 講師 小沢 益司氏



おまわりの つかさ
岡野 司くん
トラックの運転手



たかやま りょうた
高山 綾太くん
おまわりさん



さかまき とうむ
坂巻 翔夢くん
魚釣りをしたい



すずき としゆき
鈴木 俊幸くん
消防車の運転手



かいとう なな
海藤 菜那ちゃん
クッキー屋さん



はやし みか
林 美佳ちゃん
お花屋さん



てらもと まなみ
寺本 愛美ちゃん
お花屋さん



おおもり みすず
大森 美鈴ちゃん
おもちゃ屋さん



俳句

かわち俳句会

捨て切れぬ一句や雨の寒椿

橋爪 かん

生きてこそ世紀始めの酒を汲む

田沼 和子

人影のまだ置かぬ街初明り

大関 さと

鐘の音や世紀を継ぐ去年今年

大野 志げ子

初春や筑波は雲をつきはなし

川口 ふく

初空や大利根川の水の色

大塚 一重

生きてこそ富士の前なる淑気かな

山本 かづ子

初筑波坐りごこちのよきところ

飯島 ヨシノ

初詣会秋せし娘はどここの娘や

根本 たかし

ひっそりと豪屋の主寒牡丹

平川 和楓

宮の杜御神酒いただく淑気かな

大森 つや

初勤行心の底から御祈念す

細谷 雨月

どこかも琴の音流る三ヶ日

諸岡 昭

三義人永久に依えて除夜の鐘

津根 としお

大切に生きる一瞬初日記

吉田 四郎

しっかりと大地踏みしめ初詣

鴻野 たけ

暁のひかり浴びをり初鴉

杉原 利代

宇宙士を描く羽子板宙に舞ふ

石塚 たかよし

花好きの父の愛せし福寿草

石井 一江

福寿草ほのかに咲いて巳年かな

若泉 栄治

鏡餅嫁と姑のたなごころ

田中 白茅

住み馴れし路地の初日を待ちにけり

田中 康夫

初鏡辛寿の髪を結び上げて

山田 幸夫

硯海に若水を注し写佛せり

飯塚 まさよし

短歌

かわち短歌会

去年の乱を断ち切らむと吹く鋭き風に空拭はれて新世紀明くる

新年の幸を願ひし初詣で笠間稲荷に濁り酒買ふ

凍てつきし我が庭の梅の木春恋うるふるえる小枝蕾抱きて

減反に荒れ果てし田の草焼きて春待つところ穏やかならず

濁きたる上に沁みゆく雨の音心素直になりて聞く午後

むせび泣き振ひ立つごとと迫りくる神尾真由子の「ヴァイオリン」はも

青木 保

山口 かげ郎

町田 マサ子

山田 幸夫

庄司 登千子

久松 浩洋

杉田 光雪

町の歴史 あれこれ ⑥⑥

町史編さん囑託員 鈴木 久

節分と羽子騎の勝福寺



本堂で年男、年女による「豆撒き」

消える柀と鰯の頭の鬼よけ



郡司悦夫さん宅で(十三間戸)

節分は、「豆撒き」とか「年越し」などといって、夕方になると各家庭から「鬼は外、福は内」「福の神でぶつとめろ」という元気な声が聞こえたものです。柀(ヒイラギ)と鰯の頭かゴマメを大豆

の枯枝につけ、何故か左ないの注連縄をかけて戸の出入口にさします。「ヤイカガシ」(焼い嗅し)という所もあります。鬼がちん入しようとして匂いのよい鰯の頭やゴマメをほおばると、柀のトゲが口の中に突きさし、驚いて逃げるといふ鬼よけだといひます。柀の木はどの家でも必ず一本は植えておくものといわれました。しかしこの風習も、最近では町内でもあまりみられなくなりました。

節分のいわれ

節分はもともと四季の節目を意味する「セチブン」から

きたもので、旧暦の正月と重なり、年の改まる日との考えから立春が重視され、「年越し」とか「年男」とかいう言葉も使われるようになりました。起源は中国の「儺(だ・な)」という悪気邪鬼はらいの行事が日本に入って、朝廷の「追儺」の行事になったもので、豆で鬼を追う行事は室町時代に明代の風俗をとりいれたとされ、神社や寺院で厄除けの行事として盛大におこなわれるようになり、民間でも欠かせない年中行事となりました。河内でも以前は各集落の産土神での行事もありましたが、今では子供のいる家での「豆撒き」程度で、厄除け祈願には大杉神社や成田山などに出掛けています。

盛大な勝福寺の節分

ところが、羽子騎の勝福寺では例年この日五、六百人もの人々が集まる節分除災・招福・開運豆まき大会が盛大に行われています。この豆まき大会には、地元の檀家ばかりでなく、遠方から多くの信徒がやって来ます。本堂に張り出された年男・年女の氏名を見ると、町外では、龍ヶ崎、



新利根川沿いを「お練り」

新利根、江戸崎、利根、阿見など近隣と取手、柏、成田から千葉市の方の名も見えます。この二十五名の年男・年女が上下正装で豆撒きをします。会は十一時からですが、檀信徒が続々と時間前に、本堂前のお焚き上げの場所に昨年のお札や達磨を積んで本堂に上がります。十一時から客殿で「お授け」という行事が始まり、一人一人に厄除けの加持が行われ、参拝者は列を連ねて順番を待ち、一方「お焚き上げ」も勢よく炎を上げます。漸く一時すぎに、年男・年女が上下に着替えて外に出て、「お練り」といって、梶をもって、山伏姿の法螺貝を先頭に僧十数名と列を連ねて、新利根川沿いを歩き、沿

道の人々に福豆や福銭を撒きながら寺に戻り、本堂で「お加持」という大護摩会の行事に入り、最後に年男・年女による豆まきが行われ、二時頃終了します。

羽子騎の歴史とともに

寺は高騎山勝福寺といい真言宗智山派の寺で、江戸初期、寛文年間(一六六一〜一六七二)新利根川開削に伴う新田開発時、祐園の開山といわれ、境内のヒバの巨木はそのお手植えと伝えられています。本尊は両部大日如来坐像二軀で観音堂の千手観音像とともに室町期の作で、町指定文化財になっています。千手観音は「まつくら観音」の名で親しまれている安産・子育ての仏様で、八月九日の縁日の夜は年に一度のご開帳で多くの人で賑わいます。寺には羽子騎の他古河林、手栗の領主であった旗本小笠原弥八郎の宝物蔵があったとのこと、墓地には小笠原家腹の子千代の墓があります。また集落開拓の歴史を伝える羽鳥太郎右衛門の墓もあります。羽子騎には伝えるべき歴史がまだまだ豊富にあります。

矢立

ペンや鉛筆が普及したのは明治時代からで、それ以前は毛筆の時代で約一千三百年位続いたといわれます。

寄贈者 青野 光氏

当時、筆、墨、硯、水等の持ち歩きは大変でした。古い記録では、木曾義仲が陣中で手紙を書くため籠の中に硯と筆墨を持っていったとあります。籠とは矢を入れる道具のことですが、これでは不便なので考えられたものが、綿に墨を含ませて持ち歩くつぼでした。その後室町時代になって、墨つぼと筆入れの一つにして持ち歩きを便利にしたものが考案されて、矢立と呼ばれるようになったといわれています。



戸籍の窓

2000年12月 届出分
2001年1月 (敬称略)

おめでた

赤ちゃん 大 輔 琴 音 陸 花実 彩愛 愛友 安実 聖明 翔杏 晴和 胤駿	保護者 山田裕巳 海老原省司 金澤順一 岡野井昌 酒篠田敦 石栗山千 西岡健勝 藤小倉正 多木内尚 松田秀 真江口泰 小川敏 佐藤弘幸	地区 場津川 砂上平羽 上金江津 片宿三郎 平猿幸三 下町十下 北保
--	--	---

おくやみ

氏名	年齢	地区
片岡いさを	85	宿
齋藤安正	53	しらさぎ台
谷津町子	46	手栗
小松崎利明	62	上金江津
江口た	91	下金江津
青野光	81	下金江津
鈴木はる子	77	庄布川
嶋田佐喜雄	81	手栗
野澤安次郎	75	小巻
牧山すい	87	中道
瀬理洋吉	52	愛宕
沼崎まつ	91	上組
関野六郎	75	四ツ家
光野貞夫	68	和銅谷
大武ハル	90	角崎町
木村とら	86	羽子騎
福田清	86	田上
小更進	87	中大
鈴木雅俊	40	大宿
大木宏志	46	宿
山倉せ	92	上金江津

*掲載を希望されない場合は、届出の際に申し出てください。

家電製品のエアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機は

粗大ゴミでは出せません!

家電リサイクル法が本年4月1日から施行されます。

この制度では、消費者のみなさんは不要になった家電製品〔エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機が対象〕を処分する時は、リサイクル料金・収集運搬料金を負担して、製品を購入した家電小売店か、買い替えの際に家電小売店に引き取ってもらうこととなります。

このため、町では4月7日の粗大ゴミの収集日（3月中の予約分）から対象商品を収集しませんのでご注意ください。

公表されている大手メーカーのリサイクル料金

エアコン	3,500円	冷蔵庫	4,600円
テレビ	2,700円	洗濯機	2,400円

※この料金には収集運搬料金、消費税は含まれていません。

町の人口と世帯

平成13年2月1日現在
人口 11,882人(±0)
男 5,881人(+5)
女 6,001人(-5)
世帯数 3,297戸(+5)

町内の交通事故

1月発生状況(前月比)(累計)

発生件数	1件(-7)(1)
内 死者数	0人(±0)(0)
内 負傷者数	3人(-8)(3)
竜ヶ崎警察署調べ	

広報 *かわち*

■編集 河内町秘書広聴課 平成13年2月15日 発行

〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183

ホームページ <http://www.net-ibaraki.ne.jp/kawachi/>

Eメール kawachi@po.net-ibaraki.ne.jp